

平成30年度高松市伝統的ものづくり振興事業実績・決算
【決算額 5,832,824 円】

1 伝統的ものづくり振興審議会開催経費 【事業費 53,440 円】

平成30年度 開催実績2回(6/21、8/2)

2 伝統的ものづくり夏休み親子体験教室 【事業費 84,000 円】

<普及啓発>

市の実施する夏休み親子体験講座を取りまとめたリーフレットを作成し、市内の全小学生へ配布し、募集を行った。応募者総数 232 組より抽選を行い、①②③はこども未来館、④⑤⑥は四番丁スクエアにて下記6コースを実施した。

	内容	実施日	場所	参加者
①	松を知ろう！黒松の苔玉づくり体験	7月26日(木)	こども未来館	13組
②	楽しい！高松張子			25組
③	ミニ障子・コースターづくり体験			30組
④	菓子木型で和三盆&練りきりを作ろう体験	7月31日(火)	四番丁	30組
⑤	讃岐のり染め 藍染めハンカチづくり体験		スクエア	24組
⑥	讃岐かがり手まり「まきまき」体験		エア	26組
			合計	148組



3 夏休み親子探検隊リーフレット作成事業 【事業費 210,384 円】

<普及啓発/販路開拓>

市内小学校の全児童とその保護者を対象に夏休み期間中に実施する全庁的なイベントを掲載したリーフレットを作成し、市内の全小学生へ学校を通じて配布した。



4 伝統的ものづくり学校巡回教室

【事業費 638,000 円】

<普及啓発>

次代を担う子どもたちが伝統的ものづくりについて理解と関心を深めるとともに、高松の歴史を伴う伝統的ものづくりに関する教育の推進、自分の住んでいる都市に対して「誇り」や「愛着心」の醸成に寄与することを目的に実施した。

高松市内の小中学校に希望調査をとり、希望のあった学校に、香川漆器・庵治石・盆栽の3つの分野の職人の方のお話を聞いたり、作業の様子や作品を実際に見てもらったり、簡単な体験をってもらう内容で実施した。

	小中学校・学年等	小中学生参加人数
①	花園小学校・6年生	49名
②	木太南小学校・6年生	100名
③	中央小学校・4年生	150名
	3校	299名

5 伝統的ものづくり事業者対象セミナー

【事業費 150,000 円】

<販路開拓/事業者等に対する支援>

異業種間のつながりをつくること、伝統的ものづくりに携わる方の学びの場をつくることを目的として、平成30年11月8日～14日の期間中、展示販売会を開催し、11月8日には、ものづくりに携わっている方を対象としたセミナー&ディスカッションを開催した。

①展示販売会

日時	平成30年11月8日(木)～11月14日(水) 11時～19時30分
場所	まちのシューレ963 大ギャラリー (高松市丸亀町13-3 高松丸亀町参番街東館2階)

出展者	【庵治石】AJI PROJECT 【香川漆器】さぬきうるし森羅 Sinra、宗家後藤盆 【菓子木型】(有)市原 【讃岐かがり手まり】讃岐かがり手まり保存会 【保多織】ツムギ 【盆栽】中西珍松園 <div style="text-align: right;">(6分野・7事業者)</div>
-----	---

②セミナー&ディスカッション

日時	平成30年11月8日(木) 18時30分～20時30分
場所	まちのシューレ963店内カフェ
講師	井藤 隆志：香川大学創造工学部 造形・メディアデザインコース教授
対象	伝統的ものづくりに携わっている方、関心のある方
参加者	45名(除く主催者人数) (定員35名)



6 香川漆芸魅力発信事業

【事業費 1,817,000円】

＜人づくりの推進/事業環境の整備/普及啓発/販路開拓/事業者等に対する支援＞

優れた技法が伝わる「香川漆芸」について、ブランド化の核となるブランドイメージの形成を図るとともに、認知度向上と若手漆芸作家の活動支援のための取り組みを香川県と共に実施した。

イタリアの高級海外ブランドバックと香川漆器のコラボレーションを行い、その作品を家庭画報に掲載した。また、「アートフェア東京2019」に、香川県漆芸研究所として初出展した。

その他、瀬戸内国際芸術祭2019に向けた「漆の家」開館準備事業や、漆芸研究所の終了作品を東京や県内の事業者のオフィス等で無償で貸出を行う事業を実施した。

① 情報発信事業

1 RODO とコラボしたパーティバッグについて

富裕層の購読者が多い女性誌「家庭画報」(世界文化社)において、イタリアの高級バッグブランド「RODO(ロド)」とのコラボレーション企画を実施した。香川漆芸の作家4名が、サイズの異なる2種類のパーティバッグ



の片面にそれぞれ漆で加飾を施し、もう片面を RODO 側が単色ソフトレザーで仕上げた。これら 8 個のバッグを家庭画報 4 月号（3 月 1 日発売）に掲載し、情報発信を行った。

また、家庭画報の発売日に合わせ、3 月 1 日から、銀座和光にて展示販売を行ったところ、すべて完売となった。

② 新商品販売支援事業

【アートフェア東京 2019 への出展】

毎年春に東京で開催されている国内最大級の国際的なアートの見本市「アートフェア東京 2019」に、香川県漆芸研究所として初出展した。

公募により選定した漆芸研究所修了作家 2 名が作品を出展し、作家自らが作品解説を行うとともに、販売も行った。会期中、大勢の来客があり、



作品解説と合わせて漆芸研究所のパンフレットや香川漆芸の技法の説明書を配布し、これらを説明することで、香川漆芸の PR に繋がった。

会 期：平成 31 年 3 月 7 日（木）～10 日（日） 4 日間

会 場：東京国際フォーラム 地下 1 階 ロビーギャラリー

（東京都千代田区丸の内三丁目 5 番 1 号）

主 催：（一財）アート東京、テレビ東京、BS テレビ東京、イープラス

出展作家：安藤源一郎（平成 15 年度修了）、神垣夏子（平成 21 年度修了）

出品作品：31 種 91 点（いずれも販売可能なもの）

販売実績：45 点（合計金額：1,552,000 円）

来場者数：3,591 名（漆芸研究所ブースへの来場者数）

③ 瀬戸内国際芸術祭 2019 に向けた「漆の家」開館準備事業

第 1 回目の瀬戸内国際芸術祭から男木島にて展示している作品「漆の家」を、平成 31 年度に開催する瀬戸内国際芸術祭 2019 においても展示することとしている。しかし、屋根瓦の破損により、室内の天井や床、壁など漆で仕上げている部分が大きく傷んでおり、このままでは 4 月からの展示ができないことから、30 年度において、これらの修復を行うなど、開館の準備を実施した。

④ 漆芸研究所修了作品貸出事業

県内外において優れた香川漆芸作品に触れる機会を創出するため、企業や団体に対し、一定期間無料で漆芸研究所保有の修了作品の貸出しを行った。

貸出先	展示場所	貸出点数	貸出期間
大阪商工信用金庫	【大阪市中央区】 応接室	3	30.8.1 ~ 31.4.30
株式会社四電工	【高松市】 役員応接室他	3	30.8.1 ~ 31.4.30
西日本電信電話株式会社 香川支店	【高松市】 応接室	3	30.8.1 ~ 31.4.19
オークラホテル株式会社	【丸亀市】 オークラホテル 丸亀1Fロビー	3	30.9.1 ~ 31.2.28
株式会社あおぞら銀行 高松支店	【高松市】 1F・2F デイス プレイスペース	3	30.8.1 ~ 31.4.30
株式会社NTTドコモ 四国支社	【高松市】 支社長応接室	1	30.8.1 ~ 31.4.30
三豊市宗吉かわらの里 展示館	【三豊市】 展示館内	3	30.8.1 ~ 31.4.30
株式会社二蝶	【高松市】 床の間等	2	30.8.1 ~ 31.4.30
株式会社バル技研	【高松市】 応接室	1	30.8.1 ~ 31.4.30
一般社団法人香川経済 同友会	【高松市】 応接室他	2	30.8.1 ~ 31.4.30
扶桑電通株式会社 四国支店	【高松市】 受付他	2	30.8.1 ~ 31.4.30
NTTインターネット 株式会社	【東京都品川区】 応接室	3	30.8.1 ~ 31.4.30
ショーボンド建設 株式会社四国支店	【高松市】 応接室	1	30.8.1 ~ 31.4.30
穴吹エンタープライズ 株式会社	【高松市】 高松テルサ 1階ロビー	3	30.8.1 ~ 31.3.31
みずほ証券株式会社 高松支店	【高松市】 支店長室他	3	30.8.1 ~ 31.4.30
株式会社百十四銀行 ソリューション推進部	【高松市】 展示スペース	3	30.8.1 ~ 31.1.31
16か所	県外： 2か所 県内： 14か所	39	

7 伝統的ものづくり展示会等補助金

【事業費 1,520,000 円】

<普及啓発/販路開拓/事業者等に対する支援>

普及啓発・販路開拓等を目的とした、以下の展示会に対し、助成を行った。

- ・香川の家具とぬりもの新作見本市補助金 500,000 円
- ・庵治ストーンフェア補助金 500,000 円
- ・香川の漆器まつり補助金 520,000 円



8 伝統的ものづくり振興事業補助金 【事業費 1,360,000 円】

＜人づくりの推進/事業環境の整備/普及啓発/販路開拓/事業者等に対する支援＞

高松市の伝統的ものづくりの技術や素材を活用し、伝統的ものづくり事業者及び関係団体等が取り組む販路開拓や担い手育成、ブランド力向上に係る事業に対し、費用の一部（上限額 50 万円、補助額は総事業費の 1/2 以内）を補助することにより、自主的な活動の促進や事業者の事業環境の整備を図り、伝統的ものづくりの振興に繋げることを目的としている。

平成 30 年 5 月 1 日（火）～6 月 1 日（金）及び平成 30 年 7 月 2 日（月）～7 月 13 日（金）の間、事業計画を募集した結果、6 事業者（販路開拓 2 事業者、担い手育成 1 事業者、ブランド力向上 3 事業者）の応募があり、審査の結果、以下の 4 事業者の採択を行った。

補助対象事業区分	事業名	申請事業者
ブランド力向上	保多織を伝えるつなげる ブランディングツール制作事業	平川 めぐみ
販路開拓	新しい供養のカタチ 「～庵治石・身近な祈り～あい」製作	有限会社中村節朗石材 代表取締役 中村 卓史
担い手育成	のり染め実施研修会 新技術・工場見学会	有限会社大川原染色本舗 代表取締役 大川原 誠人
ブランド力向上	オリジナルブランド[une]製品認知度向上の ための情報発信	株式会社 tao. 代表取締役 坂上 月